

元禄島田

初期の頃の島田髷。遊女の髪型。
島田髷は役者の若衆髷が起源で、
島田宿の遊女が結び始めたところから、
その名が付いたといわれている。
髷全体が細く、男髷の雰囲気を残している。

島田髷という言葉は、誰もが一度は耳にしたことのある言葉ではないだろうか。日本髪代表のようないだろか。諸説あるが、東海道島田宿の遊女が結び始めたという説が有力である。歌舞伎の人気役者だった若衆の男髷を、島田宿の遊女が真似したところから流行したといわれている。日本髪のひとつの系統を成すほど完成され、そのバリエーションは無数にある。明治時代以降になっても、島田髷は芸者衆の髪型として結われ、また、高島田は、その気品が花嫁の髪型として今でも受け継がれている。

島田髷の起源は、男髷の若衆髷なので、きりりとした雰囲気は武家娘に好んで結われ、やがて町民にも広がり、未婚女性の代表的な髪型となった。根の高さや髷の幅などが様々に変化していろいろな島田髷が誕生した。

元禄島田（島田元禄）は初期の頃の島田髷である。元禄の遊女たちが結った。髷全体が細長く、男髷の雰囲気を強く残している。三連に掛けた丈長を水引で止め、先を丸めて髪飾りにしている。これから身支度をするのだろうか、後ろには市松の帯が見える。

島田髷の名前については諸説あり、女歌舞伎役者（島田花吉）が結び始めたという説、慶長八年（一六〇三年）に出雲国の（お国）が歌舞伎踊りで男装して結っていたが、女歌舞伎が禁止されたため、若衆（男性）が結うようになり、遊女が真似したなど。

サイズ 24cm 制作／高森春恵

